

文部科学省後援 PDA 全国中学校即興型英語ディベート合宿・大会 2025 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）



日程：2025 年 7 月 13 日（日）

会場：Zoom にてリモート開催

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

共催：大阪公立大学

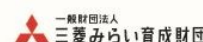
後援：文部科学省

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団、

一般財団法人 三菱みらい育成財団

協賛：公益財団法人 Tazaki 財団

参加者数：中学生 100 名（17 校・31 チーム）



参加中学校：

（茨城県）東洋大学附属牛久中学校（千葉県）翔凜中学校（東京都）明治大学付属明治中学校、東洋英和女学院中学部、獨協中学校、都立小石川中等教育学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、品川女子学院中等部（神奈川県）栄光学園中学校、湘南白百合学園中学校、聖光学院中学校（長野県）長野県屋代高等学校附属中学校（愛知県）南山中学校女子部（兵庫県）神戸大学附属中等教育学校（山口県）宇部フロンティア大学附属中学校（徳島県）徳島県立城ノ内中等教育学校（福岡県）福岡雙葉中学校

開催趣旨：

〈中学生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生、PDA 認定教育ジャッジによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。また他校生徒との交流も深まります。初心者の方も歓迎です。

〈教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。2022 年度からの「論理・表現」をはじめ、授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのセッションを 50 分としています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1：Japan should make voting compulsory.

（日本は投票を義務化すべきである。）

論題 2：Swimming classes in school should be abolished.

（水泳の授業をなくすべきである。）

論題 3：Japan should abolish the consumption tax.

（日本は消費税をなくすべきである。）

〈開会式〉

開会式では、PDA 代表理事の中川智皓より「本日は PDA の即興型英語ディベート合宿・大会にご参加いただき、ありがとうございます。初めての方も経験者の方も、全国の他校の生徒と交流する貴重な機会です。昼休みや待ち時間など、ぜひ勇気を出して話しかけてみてください。また、先生方もお忙しい中ご参加くださりありがとうございます。生成 AI が進展する今、生のフィードバックを受けられることはとても貴重です。自分のスピーチがどう伝わるかを意識して、1 試合 1 試合を大切に取り組んでください。応援しています。」とメッセージが伝えられました。そして参加校の紹介、PDA 認定教育ジャッジの先生やスタッフの紹介、ルールの確認を行いました。



POI(Point of Information: ディベート中の質疑応答)のポーズ練習

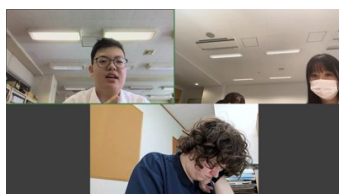
〈ラウンド 1～ラウンド 3〉

開会式を終えると早速ラウンドの開始です。生徒たちは POI も駆使しながらお互いの議論を深めたり、ディベート後、ジャッジによるフィードバックを待っている時間に相手チームと交流する中で論題について理解を深めたりしました。ラウンド 1 の「日本は投票を義務化すべきである。」では若者の投票率が低いことを問題だとする肯定側に対し、否定側が深く考えずに投票する人が増えることで投票の質が下がると主張するなど、日本の現状を鋭く捉えた議論が交わされました。

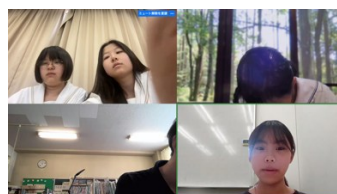


Round1 福岡雙葉中学校 B VS 翔凜中学校 A POIの様子

ラウンド 2 「水泳の授業をなくすべきである。」では肯定側が水泳の授業における怪我や熱中症などのリスクや、教員の負担などについて述べ、対する否定側はいざという時のために泳ぐスキルを身につけておくことの重要性について主張しました。ディベートが終わると対戦相手チームと握手を交わし、お互いのポイントについて確認したり、普段どのように英語の勉強をしているかや、部活動などについて話したり交流を深めました。



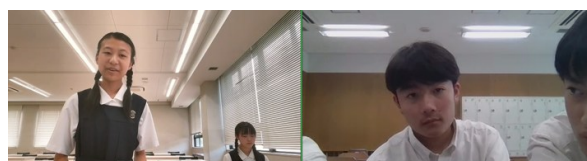
Round2 小石川 B VS 南山



Round2 翔凜 B VS 明治・実践



Round2 栄光 A VS 聖光 B



Round2 福岡雙葉 A VS 獨協 B



Round2 品川女子 B VS 栄光 B



Round2 聖光 A VS 神大附属 A



Round2 大泉 A VS 翔凜 C



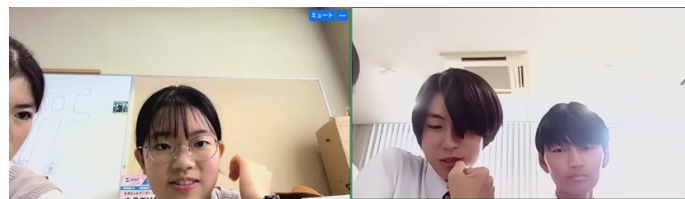
Round2 大泉 B VS 福岡雙葉 B



Round2 品川女子 A VS 城ノ内



Round2 牛久 A VS 栄光 C



Round2 都立小石川中等教育学校 A VS 宇部フロンティア大学付属中学校 ディベート後の交流



Round2 獨協 A VS 牛久 B ディベート後の握手

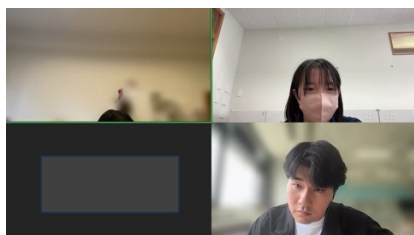


教員によるディベート実践後の交流



昼食時間の交流の様子 獨協中学高等学校 B・湘南白百合学園中学校

ラウンド3「日本は消費税をなくすべきである。」では、消費税の目的や日本の現状を踏まえた上で、多角的な視点から活発な議論が交わされました。中には、海外の事例を取り上げたチームもあり、日頃から社会情勢に関心を持っていることがうかがえる内容となりました。



Round3 東洋英和 VS 品川女子 B



Round3 大泉 A VS 小石川 C ディベート後の交流



Round3 屋代 VS 牛久 B ディベート後の交流



教員ラウンドの様子



東京都立大泉高等学校附属中学校 A チーム・B チーム

〈表彰式・閉会式〉

3 ラウンドの終了後には、PD 検定や AI ディベートシステム（DebateSpeech）の紹介が行われ、その後、表彰式と閉会式が行われました。表彰式では、ベストチーム賞や個人賞（ベストディベーター賞・ベスト POI 賞）が発表され、参加者同士が拍手でお互いの健闘を称え合いました。



拍手でお互いの健闘を称え合いました。

〈結果〉

チーム賞

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 位 聖光学院中学校 A チーム | 2 位 栄光学園中学校 B チーム |
| 3 位 明治大学付属明治中学校・実践 | 4 位 都立小石川中等教育学校 C チーム |
| 5 位 翔凜中学校 A チーム | 6 位 翔凜中学校 B チーム |
| 7 位 神戸大学附属中等教育学校 A チーム | 8 位 神戸大学附属中等教育学校 B チーム |
| 9 位 聖光学院中学校 B チーム | 10 位 南山中学校女子部 |



チーム賞集合写真

ベストディベータ賞

※ ★は 3 回ベストディベータに選出された生徒

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ・ ____ さん（明治大学付属明治中学校・実践）★ | ・ _____ さん（聖光学院中学校 B） |
| ・ _____ さん（聖光学院中学校 A） | ・ _____ さん（栄光学園中学校 B） |
| ・ _____ さん（品川女子学院中等部 B） | ・ _____ さん（都立小石川中等教育学校 C） |
| ・ _____ さん（翔凜中学校 B） | |



ベストディベータ賞受賞者 集合写真

ベスト POI 賞

※ ★は3回ベスト POI に選出された生徒

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| ・ _____ さん（品川女子学院中等部 A）★ | ・ _____ さん（福岡雙葉中学校 A） |
| ・ _____ さん（福岡雙葉中学校 B） | ・ _____ さん（神戸大学附属中等教育学校 B） |
| ・ _____ さん（南山中学校女子部） | ・ _____ さん（聖光学院中学校 B） |
| ・ _____ さん（栄光学園中学校 B） | ・ _____ さん（品川女子学院中等部 B） |
| ・ _____ さん（東京都立大泉高等学校附属中学校 A） | ・ _____ さん（都立小石川中等教育学校 B） |
| ・ _____ さん（東洋英和女学院中学部） | ・ _____ さん（明治大学付属明治中学校・実践） |
| ・ _____ さん（翔凩中学校 C） | ・ _____ さん（翔凩中学校 B） |



ベスト POI 賞受賞者 集合写真

アンケート（抜粋）

〈生徒の声〉

- ・ 勉強になった。（東洋大学附属牛久中学校）
- ・ いろいろな人とディベートできて、連合チームで連携が取りにくい状況だったけれど二人で様々なことを考えられた。（明治大学付属明治中学校・実践）
- ・ ディベートで勝てたことが嬉しくて、楽しかったです。（東洋英和女学院中学部）
- ・ 他校との交流が楽しかった。（獨協中学校）
- ・ 他校ともよく話せたし、初めて知らない人とディベートをして、ワクワクした。（獨協中学校）
- ・ 楽しく、参加できて、さらにディベートの楽しさが分かった。（獨協中学校）
- ・ 英語ディベートを始めてまだ日が浅いですが、他校の方々と交流できて良かったです。初めての大会だったので、オンラインで緊張もなく発言しやすかったです。（都立小石川中等教育学校）
- ・ 色々な議題で、他校の方々と交流ができたので楽しかったです。これからのディベートに生かしたいと思っています。（都立小石川中等教育学校）
- ・ 他校のスタッフの方、教員の方、生徒さんとの交流が深められた。（品川女子学院中等部）

- ・初めての大会で他校との交流もでき、成長できたと感じた。(栄光学園中学校)
- ・初めての公式戦だったが、とても楽しめた。いい大会だなと思った。(栄光学園中学校)
- ・実り多き時間だった。(聖光学院中学校)
- ・他校との交流がたくさんできた。ディベートが充実した内容だった。(長野県屋代高等学校)
- ・フィードバックも的確で、他校の方とも交流ができた。(南山中学校女子部)
- ・互いに何ができなかったか、何が強かったかを称賛反省をしあっていた。(神戸大学附属中等教育学校)
- ・他校の生徒が優しくて、思っていたよりも交流を深めることができた。(宇部フロンティア大学附属中学校)
- ・他校の人々の話を聞くことができ、大変充実した経験をすることができた。(徳島県立城ノ内中等教育学校)
- ・負けても勝ってもとてもスッキリとした気持ちで終わることができました。(福岡雙葉中学校)
- ・自分にとって、とてもいい経験でした！とても楽しかったです。チームワークの大切さを学びました。(福岡雙葉中学校)

〈教員・ジャッジの声〉

- ・実際にディベート実践をすることで、如何に難しいものかを実感することができました。また、生徒の皆さんの話し方からもとても勉強になりました。
- ・参加中学生の能力の高さと頑張りに感銘受けました。
- ・素晴らしい機会を中学生に提供してくださり、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・初めてのオンライン大会出場で生徒は楽しんでいました。ありがとうございます。